

2015年開催

「今、なぜロースクールで学ぶのか☆列島縦断リレー☆法科大学院がわかる会」

東京会場① 企画概要

主催：法科大学院協会 共催：日本弁護士連合会

後援：文部科学省、法務省、最高裁判所、適性試験管理委員会

日時：平成27年7月4日（土）13：00～17：00 （12：30開場）

場所：弁護士会館クレオBC・1701ABC

第1部 【法科大学院の魅力とは】

13：00～15：00 @弁護士会館クレオBC

司会：内村涼子弁護士（慶應義塾大学法科大学院 修了）

＜あいさつ＞ 法科大学院協会専務理事 大貫裕之教授

① 法科大学院在校生座談会（20分）

法科大学院の教員と現役在校生が、法科大学院で行われている授業はどのようなものか、学生がどんな生活をしているかなどについて、対談を行う。

○ 立教大学法科大学院 野澤正充教授

○ 立教大学法科大学院 在校生2名

② 法科大学院教育と検察官の仕事（10分）

法科大学院修了の若手検察官が、職務の内容及び法科大学院の教育が現在の職務にどのように生かされているか講演する。

○ 東京地方検察庁 水野晶子 検事（神戸大学法科大学院 修了）

③ 法科大学院教育と裁判官の仕事（10分）

法科大学院修了の若手裁判官が、職務の内容及び法科大学院の教育が現在の職務にどのように生かされているか講演する。

○ 東京地方裁判所 須田健嗣 判事補（早稲田大学法科大学院 修了）

④ 「弁護士になろう☆私のゲンバ☆」ダイジェスト版放映（10分）

日本弁護士連合会が作成した、子どもの人権・被災地支援・裁判員裁判・司法過疎・企業法務・地方自治体など、様々な現場で活躍する法科大学院修了弁護士のインタビュー動画のダイジェストを放映する。

⑤ 若手弁護士座談会（20分）

第64期で司法修習を終了した法科大学院修了の若手弁護士が、法科大学院で得られた経験が現在の弁護士としての仕事にどのように結びついているかを対談する。

○ 筑波アカデミア法律事務所 小野田峻弁護士

（筑波大学法科大学院非常勤講師、金沢大学法科大学院 修了）

○ 土肥法律事務所 友納理緒弁護士

(衆議院議員政策秘書, 早稲田大学法科大学院 修了)

○ アンダーソン・毛利・友常法律事務所 杉田昌平弁護士

(名古屋大学法科大学院特任講師, 慶應義塾大学法科大学院 修了)

○ 岩手県総務部法務学事課 菊池優太弁護士

(北海道大学法科大学院 修了)

⑥ 企業内弁護士による講演会 (10分)

企業内で活躍する弁護士が、現在の仕事や法科大学院との関わりについて講演する。

○ 株式会社島津製作所法務部 竹本綾世弁護士

(慶應義塾大学法科大学院 修了)

⑦ 法科大学院のバックアップ体制 (10分)

様々な法科大学院での経済的な支援、自習室などの自学自習支援体制、チューター制度など、学修のバックアップ体制に関して報告する。

○ 一橋大学法科大学院 高橋真弓准教授

<あいさつ>日本弁護士連合会事務総長 春名一典弁護士

第2部 【法科大学院／修了法曹との個別懇談会】

15:00～17:00@弁護士会館1701ABC

○ 都内近郊の法科大学院10数校がそれぞれブースを設置し、各ブースにおいて法科大学院教員や修了弁護士に対して、参加者が法科大学院の教育内容やサポート体制などを質疑応答し、懇談する場を設ける。

また、現役の法科大学院在学生も同席し、参加者へ法科大学院での生活などについても質問を受け付ける場合もある。

○ 講演などで登壇した弁護士、検察官、裁判官のほか、共催・後援関係者が同席する「実務家ブース」を設置し、講演内容への質疑応答や個別の大学院に関わらない質疑応答を行う。

以上